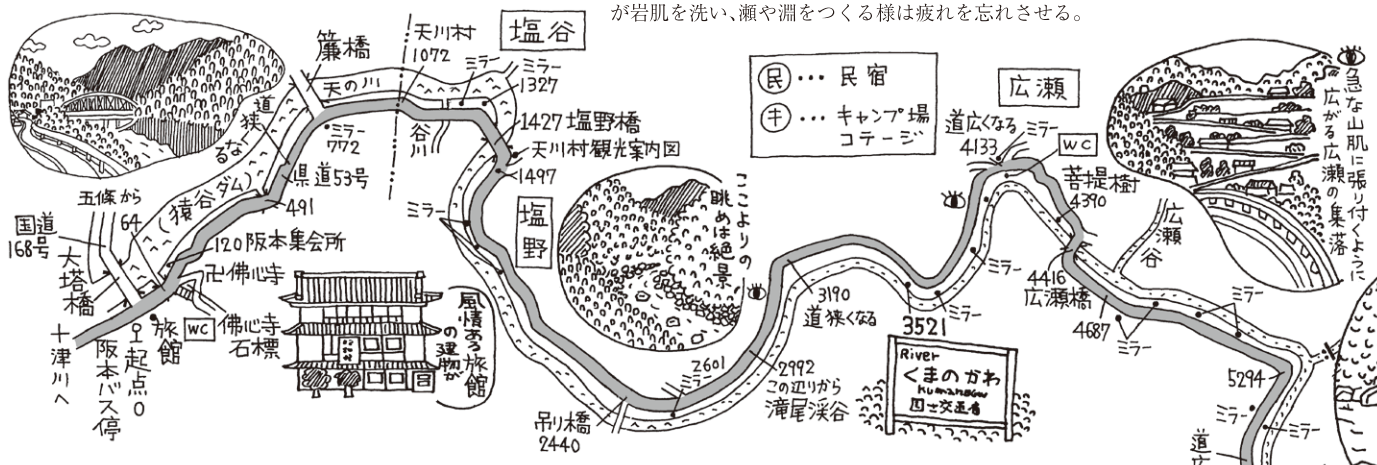
てくてく 奈良－37まっぷ

このコース地図は2020年6月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪ハイキング係
☎(06)6775-3566

コースのあらまし　修行時代の空海や戦前まで大峯高野修業の行者が盛んに歩いた大峯高野街道は、ほぼ東西に延びる信仰の道。山伏装束に因み「すずかけの道」と名づけられた道の一部を東へ辿る。五條市大塔町、猿谷ダム湖畔の阪本バス停を出発し、天ノ川左岸の県道を上流に向かって天川村内へ。蛇行する天ノ川に沿い、塩野橋、広瀬橋、庵住橋と渡り、天川和田バス停に至る。滝尾渓谷などの自然美あり、空海が庵を結んだという庵住などの地名あり、落とした数珠から芽吹いて育った菩提樹などの伝承ありと、楽しみは様々。全コースほぼ平坦で歩き良いが途中、標高差約80mの八幡神社に寄るオプションコースもある。

●てくてくまっぷはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。

滝尾渓谷　大峯の山々に降った雨は、無数の谷や沢を形成して徐々に集まり、十津川、熊野川（新宮川）と名を変えて太平洋に注ぐ。天ノ川はその上流部で、流れる水はあくまで清く美しい。天川村の塩野と広瀬の集落の間、川が北東に蛇行し始める付近から、数百mに渡って続く美しい滝尾渓谷では、歩きながらその美を満喫できる。コース右側の眼下で、急流が岩肌を洗い、瀬や淵をつくる様は疲れを忘れさせる。



永豊寺　現在は浄土真宗の寺院だが、創建由緒などは不詳。寺の本尊である阿弥陀如来とは別に、道を挟んで本堂の向かいに建つ収蔵庫に、奈良県の文化財に指定される木造釈迦如来坐像と多聞天・広目天の立像がある。天川村に現存する仏像のうちでは最も古いとされる貴重なもので、広目天は雨の仏様、多聞天は風の仏様という。この3像には、槍の大木を伐採しようとした樵にまつわる不思議な伝承が残る。

不動滝　コース5294地点、天ノ川左岸を走る県道が大きく右に曲がる辺りで、対岸に落差約40mの滝を見ることができる。東側から天ノ川に合流してくる小さな支流が、最後で一気に流れ落ちているもので、季節ごとに水量変化が大きく滝の姿も変わるという。この谷の上部にある仏像形の自然石は、古来その形から土地の人々に「お不動さん」と親しまれ、弘法大師が彫ったものと伝えられる。滝の名はそれに因む。

伊波多神社　ゴールの天川和田バス停からさらに300mほど先、天ノ川の明神淵の畔に静かに南面して建つ古社。創祀の由緒は不明ながら、平安時代の朝廷による神社一覧とも言うべき延喜式神名帳にも記載された式内社である。当時、吉野郡で式内社に数えられた10社のうちの1つとされる。祭神は伊波多神とも、五瀬命とも八幡大神とも伝える。村人が川底から引き上げた剣を神体としたが、それは後醍醐天皇の御用剣だったとの伝承もある。

●大阪上本町駅から大和八木駅まで快速急行約30分
●京都駅から大和八木駅まで特急約50分
●近鉄名古屋駅から大和八木駅まで特急約1時間40分
●大和八木駅から奈良交通バスで阪本バス停まで約2時間10分
●近鉄大阪阿部野橋駅から高田市駅まで急行約30分
●高田市駅から奈良交通バスで阪本バス停まで約2時間
※バス便が少ないため、要確認
●バス時刻のお問い合わせ
奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742)20-3100

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。
●地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつつしみましょう。

●約13キロ〔阪本バス停～滝尾渓谷～不動滝～永豊寺～天川和田バス停〕

空海や山伏も歩いた信仰の道 すずかけの道コース①

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行＝近畿日本鉄道（株）
制作・印刷＝（株）アド近鉄
イラストマップ＝宮野耕治
※このイラストマップの無断転写禁ず。

近鉄